

平成26年度物流分野におけるCO₂削減ポテンシャル等に関する調査委託業務

共同輸配送促進に向けた
マッチングの仕組みに関する検討会

第3回資料

平成27年 3月23日

目次

- (1) 試行結果のご報告**
- (2) アンケート結果のご報告**
- (3) インタビュー結果のご報告**
- (4) サポートセンターの対応についてのご報告**

- (5) 今後の対応について**

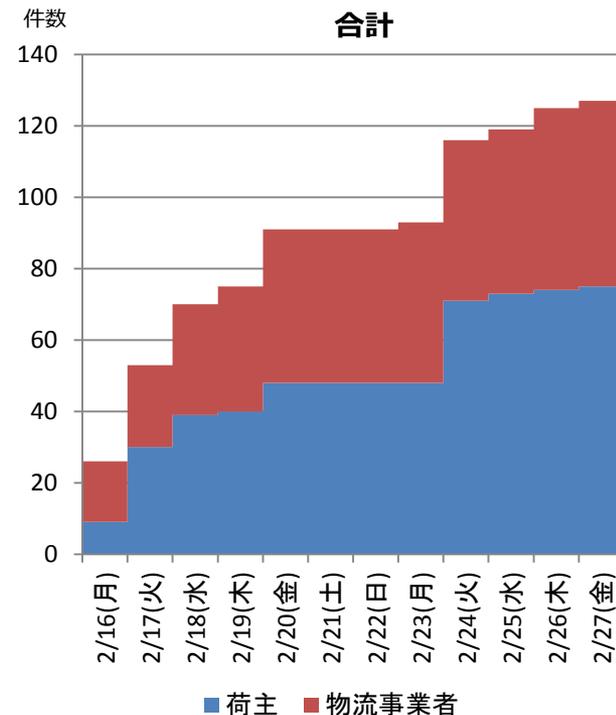
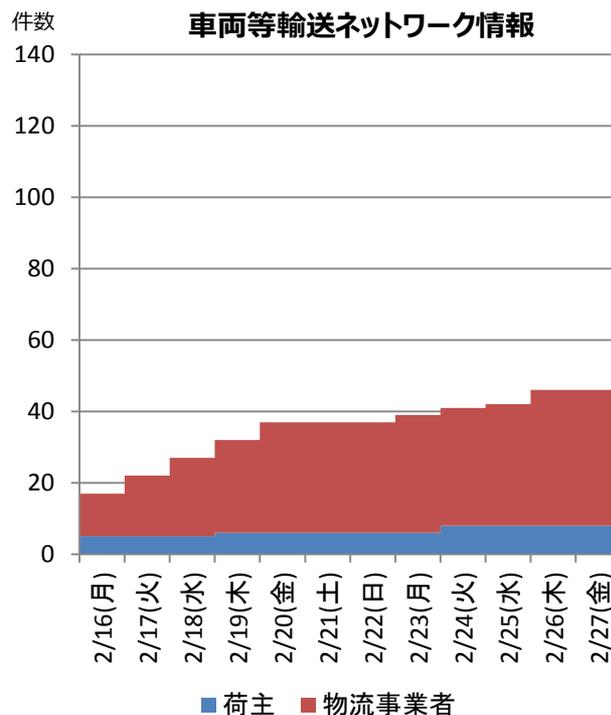
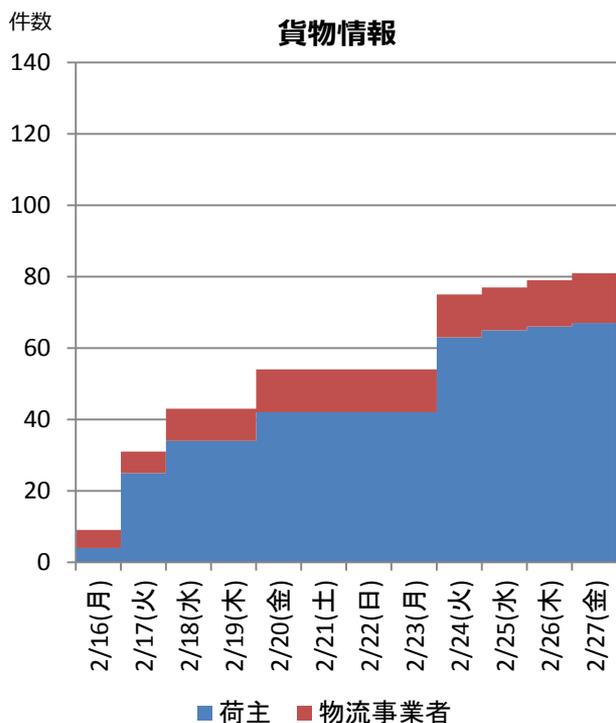
添付1：検証用マッチングシステム改修に関するご意見

1. 試行結果のご報告

1. 物流情報登録件数

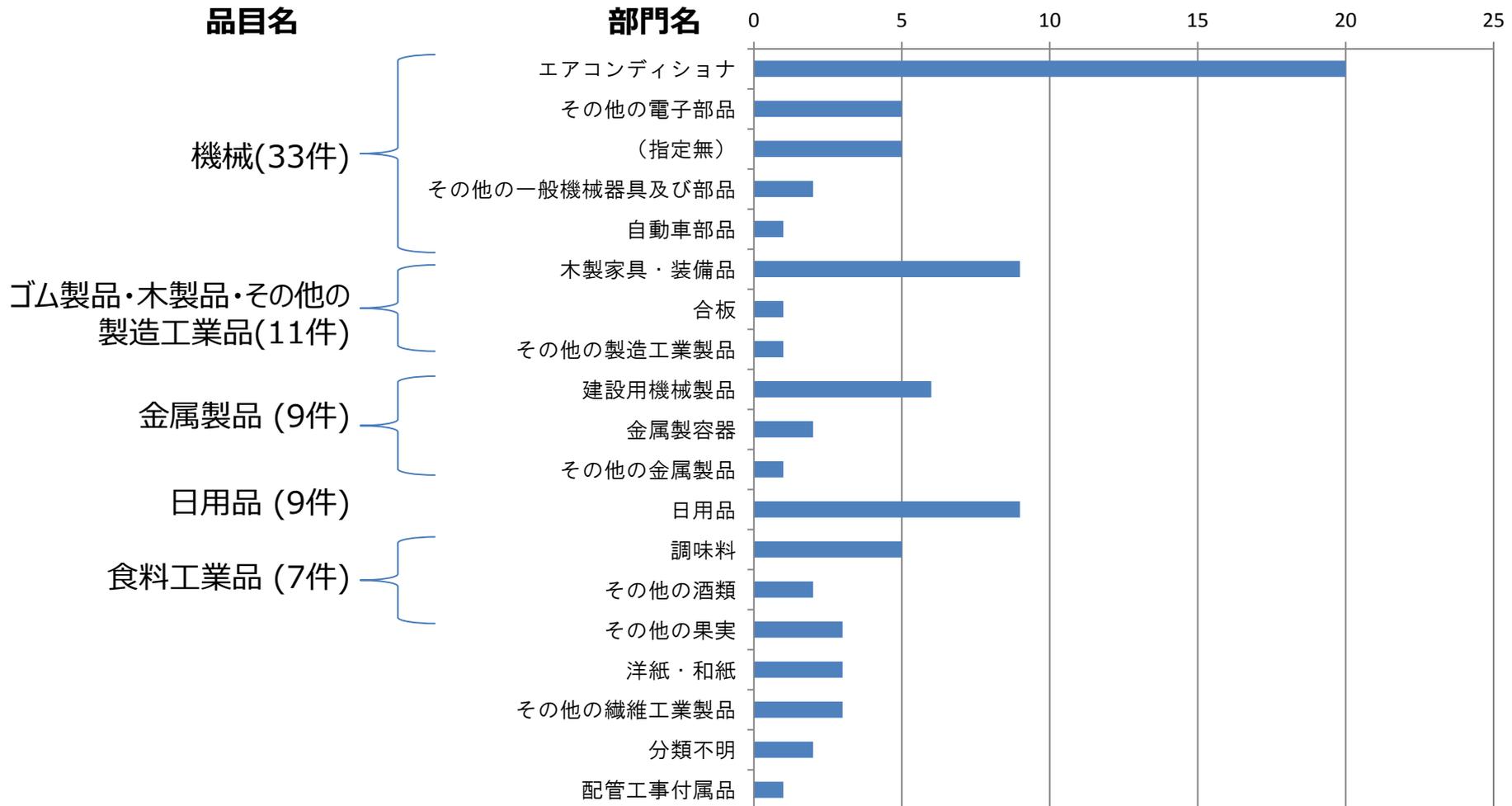
- 2月16日(月)から2週間の運用の中で、参加企業15社から127件(貨物情報は81件、車両等輸送ネットワーク情報は46件)の物流情報が登録された。
- 貨物情報も輸送ネットワーク情報も、荷主・物流事業者の双方から登録があった。

物流情報の登録件数推移



2.貨物情報の品目別分布

- 貨物情報は、機械・金属製品、ゴム・木製品、日用品等の10品目が登録された。
- 『異業種間の出会いの場』に繋がる複数品目/複数部門の情報登録結果となった。



3. OD別物流情報件数と交渉箇所

- 物流情報127件の中で、エリアをまたぐ『幹線輸送』は77件、エリア内に閉じる『地場輸送』は50件が登録された。
- この中で、赤枠で示す『関東・北海道』間、及び『関東・関西』間で、2件が共配成立した。更に、交渉中案件は、『東北・関西』間、及び『九州エリア内』で各々1件（計2件）発生している。
※なおシステムを利用せず電話により交渉に到った案件も別に1件あり(次頁記載)

OD方面別物流情報件数

成立した区間
 交渉中の区間

単位：件数

			着エリア					
			北海道・東北	関東	中部	関西	中国・四国	九州・沖縄
発 エ リ ア	北海道・東北	貨物情報				2		
		車両等情報		1		1	1	
		小計		1		3	1	
	関東	貨物情報	15	17	7	7		
		車両等情報	5	23		4	6	1
		小計	20	40	7	11	6	1
	中部	貨物情報	1	3	3	1	2	
		車両等情報						
		小計	1	3	3	1	2	1
	関西	貨物情報	1	5	5		2	2
		車両等情報	1	3				
		小計	2	8	5		2	2
	中国・四国	貨物情報		1				
		車両等情報	2	9				
	小計	2	10					
九州・沖縄	貨物情報						7	
	車両等情報						7	
	小計						7	

地場配送

4. 共配成立 及び交渉中の案件内容 詳細

1. 成立した案件・・・2件

■E社(貨情)	求 積合せ車両	食料	茨城→北海道
■V社(車情)	求 車扱い貨物		埼玉→北海道
■E社(貨情A)	求 車両	食料	茨城→神戸
■E社(貨情B)	求 車両	食料	茨城→神戸
■S社(車情)	求 貨物		埼玉→兵庫

2. 交渉中となっている案件・・・3件

■D社(貨情)	求 車両	福島→大阪
■Z社(車情)	求 貨物	福島→山口
■A社(貨情)	求 車両	福岡→鹿児島
■Z社(車情)	求 貨物	福岡市内

<システムを利用せず、電話にて交渉を行った案件>

■X社(車情)	求 貨物
■A社(貨情)	求 車両

3. 電話による問合せをした案件 (アンケート回答より)・・・4件

■G社→W社	仙台・米原間の運賃確認	1件
■G社→C社	貨物詳細の確認	1件
■G社→C社	貨物詳細の確認	1件
■V社→G社	見積の依頼	1件

活動実態の詳細

1. 登録全件数

物流情報全登録件数：127件

貨物情報：81件

車両等輸送ネットワーク情報：46件 (トラック35件、鉄道2件、船舶9件)

カテゴリ	企業名	貨物/車両区分	連絡事項	2/16(月)	2/17(火)	2/18(水)	2/19(木)	2/20(金)	2/21(土)	2/22(日)	2/23(月)	2/24(火)	2/25(水)	2/26(木)	2/27(金)	小計	合計	
荷主	F社	貨物	積合せ車両			9										9	9	
	E社	貨物	積合せ車両	2	1							2					5	
		車両	積合せ貨物	1													1	6
	G社	車両	車扱い貨物									2					2	
		貨物	積合せ貨物	4			1										5	7
	A社	貨物	車扱い車両	1									10		1		12	
			積合せ貨物										8				8	
			積合せ車両										1	1		1	3	23
	C社	貨物	車扱い車両		10				2								12	
			積合せ車両		1				6									7
D社	貨物	車扱い車両											1			1		
		積合せ車両		1	1											2	3	
			積合せ貨物		3												3	
B社	貨物	積合せ車両			5											5	8	
			積合せ貨物			1											1	
物流事業者	T社	貨物	車扱い車両		1											1		
		積合せ車両													1		1	
		積合せ貨物		1													1	3
			積合せ車両						1									1
	V社	貨物	車扱い貨物		1				1								2	
		車両	積合せ貨物								2						2	5
	Y社	車両	車扱い貨物			3											3	
		貨物	車扱い車両			1			2						3		6	9
	Z社	貨物	積合せ貨物													1	1	
		車両	車扱い貨物	3													3	4
U社	車両	車扱い貨物										1				1	1	
X社	車両	車扱い貨物		1												1	1	
S社	貨物	積合せ車両	5													5		
	車両	車扱い貨物	5	3	4	4	2							1		19		
W社	貨物	積合せ貨物	3													3	27	
		積合せ車両						2								2	2	
小計	荷主			9	21	9	1	8	0	0	0	23	2	1	1	75	75	
	物流事業者			17	6	8	4	8	0	0	2	0	1	5	1	52	52	
合計				26	27	17	5	16	0	0	2	23	3	6	2	127	127	

2. 閲覧回数について

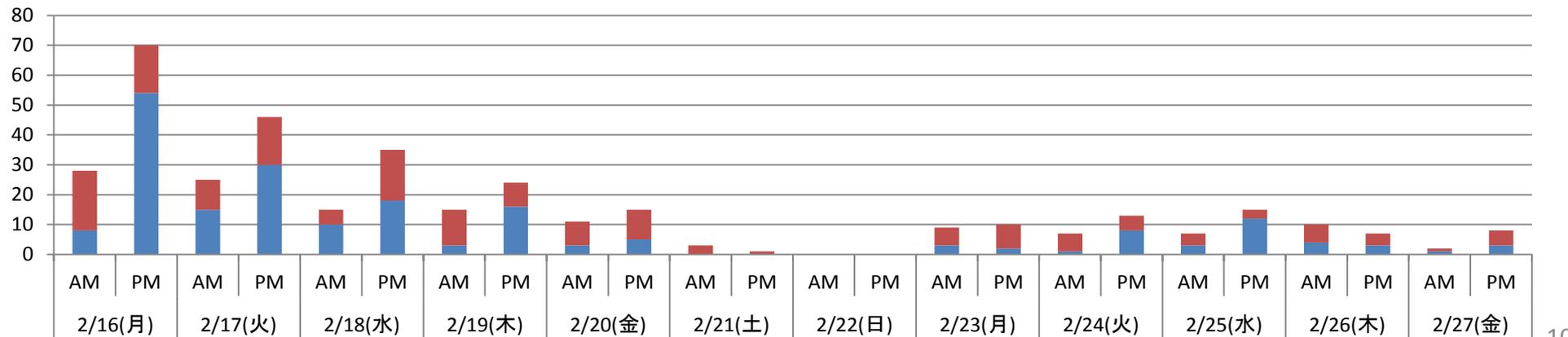
①ログイン回数

合計：376回 (1社平均25回、1日平均31回)

カテゴリ	企業名	2/16(月)		2/17(火)		2/18(水)		2/19(木)		2/20(金)		2/21(土)		2/22(日)		2/23(月)		2/24(火)		2/25(水)		2/26(木)		2/27(金)		総計	
		AM	PM																								
荷主	F社						12																			12	
	E社	6	32	8	7	3			7	1	1					2		1	3	1	3						75
	G社		14	1	6	5			1	5						1	1		1	1							36
	A社	1	1		2		1					1							3	1	1		1	1	1	1	15
	C社	1	1	4	1		1		1	2	3																14
	D社		3	2	3		3	1	1													4	3	2		1	23
	B社		3		11	2	1	1	2								1		1			4				1	27
物流事業者	T社		3		1				1		1	1					1				1						10
	V社				7	1		8	2	4	4	1				3	6	1	1				1	1	1	1	41
	Y社	1	1	1		2	13	3	2	1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1			32
	Z社	7	3	1	1	1	1	1	1	2						1		1	1	1	2			1		5	29
	U社	2	2								1									1		2			1		9
	X社	2		2	1														3	1							9
	S社	8	7	6	6	1	3		2	1	2	1	1			1						1	2	1			43
	W社										1																1
小計	荷主	8	54	15	30	10	18	3	16	3	5	0	0	0	0	3	2	1	8	3	12	4	3	1	3	202	
	物流事業者	20	16	10	16	5	17	12	8	8	10	3	1	0	0	6	8	6	5	4	3	6	4	1	5	174	
合計		28	70	25	46	15	35	15	24	11	15	3	1	0	0	9	10	7	13	7	15	10	7	2	8	376	

日別・時間帯別集計結果

■ 荷主 ■ 物流事業者



2. 閲覧回数について

②検索回数

合計：417回 (1社平均27.8回、1日平均34.8回)

内、⑨固定機能活用実績は16日に2件

カテゴリ	企業名	2/16(月)	2/17(火)	2/18(水)	2/19(木)	2/20(金)	2/21(土)	2/22(日)	2/23(月)	2/24(火)	2/25(水)	2/26(木)	2/27(金)	総計
		AM PM												
荷主	F社			18										18
	E社	33	4 11	7		9	1 1			3	1			70
	G社	23		27 12	4 12				2 1	5 2				88
	A社	2		3	1		1			3 1			2	13
	C社		1 1			2								4
	D社			1							1	1		3
	B社	6		19		1 2					3			32
物流事業者	T社		4			2	1			2		3		14
	V社			19	4	3 2	2 1		2 4			2 3		42
	Y社				5 11	1 4	4 3		1 2	1 1	1	1		35
	Z社	9 7		2 3 1	1 2	2			1	2 1	2	1	10	44
	U社									2 1				3
	X社													3
	S社	14 10	3 10		2		1 1 2		1			4 3		51
W社													3	
小計	荷主	2 63	5 61	19 19	5 23	1 4	0 0	0 0	2 1	0 11	3 5	1 0	0 3	228
	物流事業者	23 21	3 31	12 14	5 10	8 5	2 2	0 0	5 8	5 3	5 4	8 2	3 10	189
合計		25 84	8 92	31 33	10 33	9 9	2 2	0 0	7 9	5 14	8 9	9 2	3 13	417

日別・時間帯別集計結果

■荷主 ■物流事業者



2. 閲覧回数について

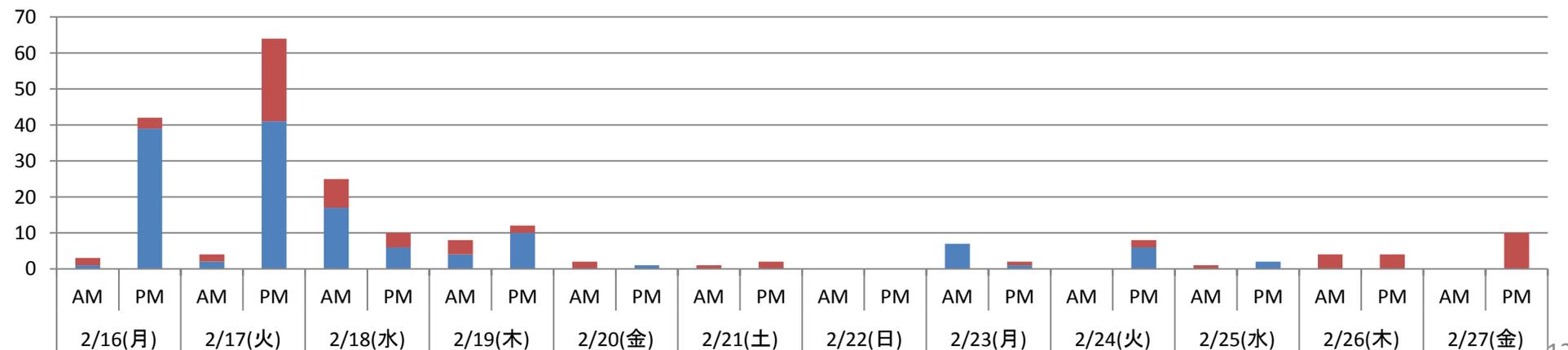
③ 詳細確認回数

合計：212回（1社平均14.1回、1日平均17.6回）

カテゴリ	企業名	2/16(月)	2/17(火)	2/18(水)	2/19(木)	2/20(金)	2/21(土)	2/22(日)	2/23(月)	2/24(火)	2/25(水)	2/26(木)	2/27(金)	総計												
		AM PM																								
荷主	F社			6										6												
	E社		14	2	2	1								21												
	G社		22		27	16				7	1	6		93												
	A社	1												1												
	C社		1											1												
	D社																									
	B社		2		12								1		15											
物流事業者	T社											1		1												
	V社			19	4		4	1	1		1		4	34												
	Y社				2	2		1	1					6												
	Z社		1		2						1	1		15												
	U社																									
	X社										1			1												
	S社	2	2	2	4		2						3		18											
W社																										
小計	荷主	1	39	2	41	17	6	4	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137		
	物流事業者	2	3	2	23	8	4	4	2	2	0	1	2	0	0	0	1	0	4	4	0	10	75			
	合計	3	42	4	64	25	10	8	12	2	1	1	2	0	0	7	2	0	8	1	2	4	4	0	10	212

日別・時間帯別集計結果

■ 荷主 ■ 物流事業者



3. 閲覧回数について（参照された回数）

- 荷主・物流事業者間の物流情報の参照関係は以下ようになる。
『荷主×荷主間』、『荷主×物流事業者間』が、多く参照されている。

④参照された回数

		参照をした企業	
		荷主	物流
参照された企業	荷主	79	58
	物流	41	14

参照された企業と参照した企業の内訳

参照された企業名		参照した企業														合計	
カテゴリ	企業名	荷主							物流事業者								
		F社	E社	G社	A社	C社	D社	B社	T社	V社	Y社	Z社	U社	X社	S社		W社
荷主	F社			1						2							3
	E社	1		15		1		9		9		1			1		37
	G社																0
	A社			2	8						4	2	8		1	5	30
	C社				17						5	2	2		2		28
	D社				6			3			6		3		2		20
	B社			1	15						3						19
物流事業者	T社				2												2
	V社			1								1			2		4
	Y社										2				2		4
	Z社			2	2					1	1				1		7
	U社																0
	X社											1					1
	S社		5	2	13	1		3			2		1				27
W社				10												10	
	合計	6	8	89	1	1	0	15	1	34	6	15	0	1	15	0	192

2. アンケート結果のご報告

1. アンケート調査概観

1. 実施概要…第2回検討会にてご提示済み

試行参加企業15社に対して、以下の2種類のアンケートを実施

①システム利活用者様向け

システムの機能・操作性等に関するアンケート

②共配を企画・管理なさる方向け

共同配送のニーズ・プロセスに関するアンケート

2. アンケート回答数 (複数の方から回答を頂いた企業 有り)

①システム利活用者様向けアンケート回答数 : 18回答

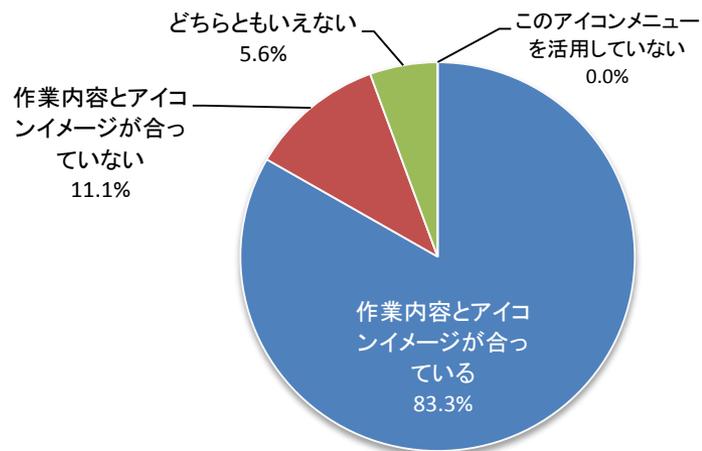
②共配を企画・管理なさる方向けアンケート回答数 : 15回答

1. システムの仕様について アイコンの分かりやすさ(1/2)

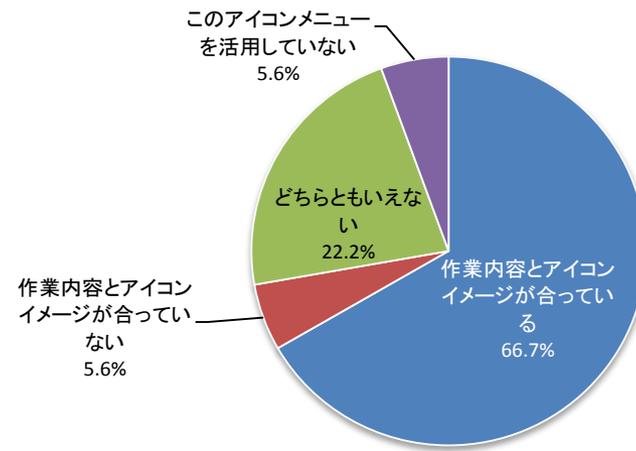
- 『作業内容とアイコンのイメージが合っているか?』という問には、全てのアイコンに於いて『合っている』との回答が多かった。



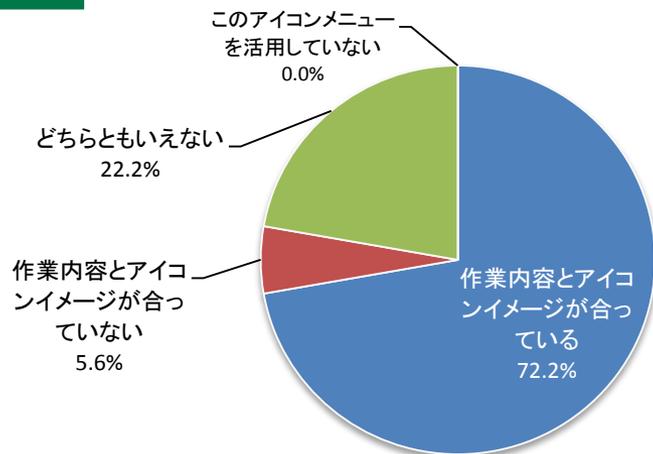
① 自分の物流情報を登録する



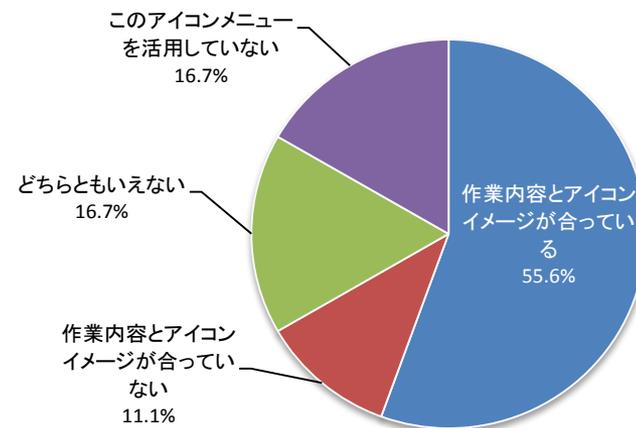
② 自分の物流情報を編集する



③ 物流情報を検索する



④ 交渉中の情報を見る

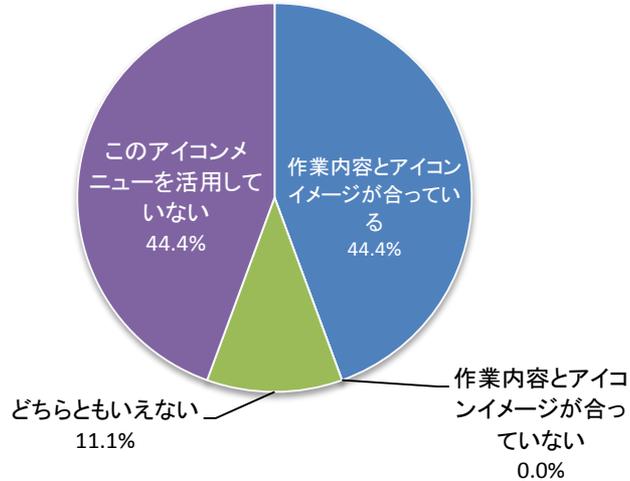


1. システムの仕様について アイコンの分かりやすさ(2/2)

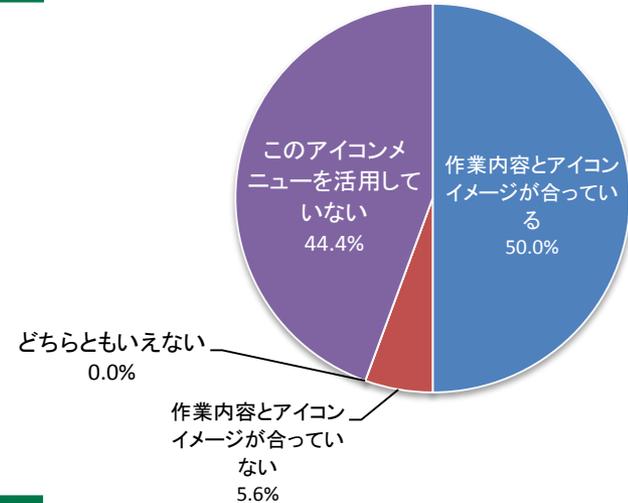
- ⑤CO2排出量を登録する～⑦CO2排出量を試算するは、試行期間が短いため、『活用していない』との意見が多かったものの、イメージとしては『合っている』との回答が多数であった。



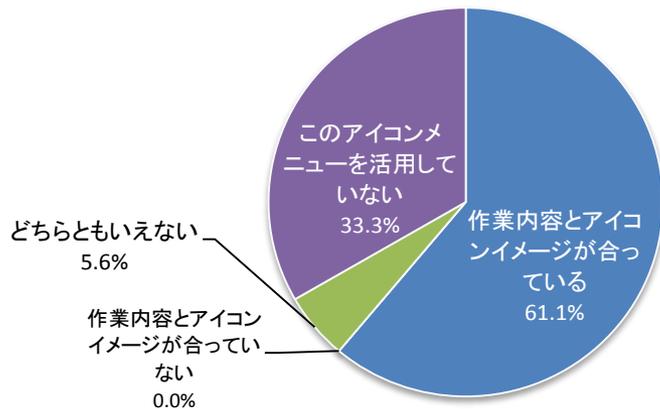
⑤ CO2 排出量を登録する



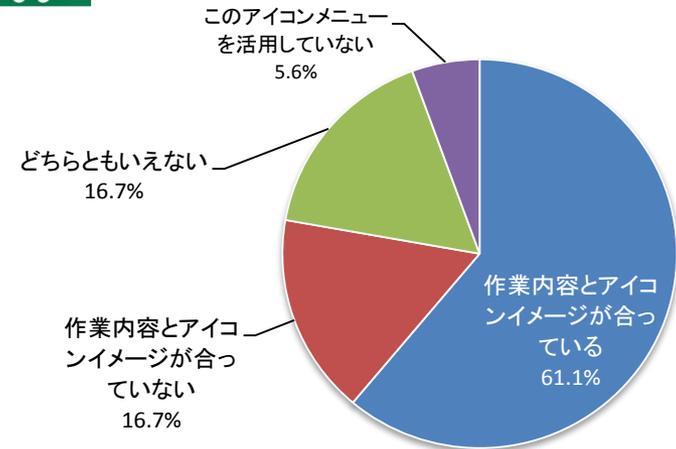
⑥ 集計結果を見る



⑦ CO2 排出量を試算する



⑧ 簡易掲示板

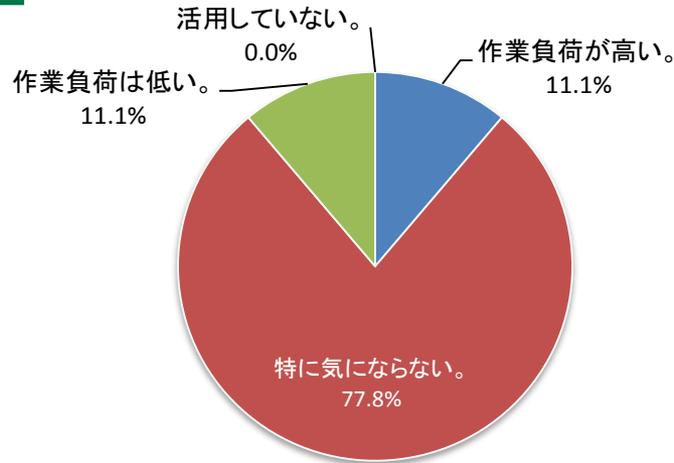


1. システムの仕様について オペレーション負荷(1/2)

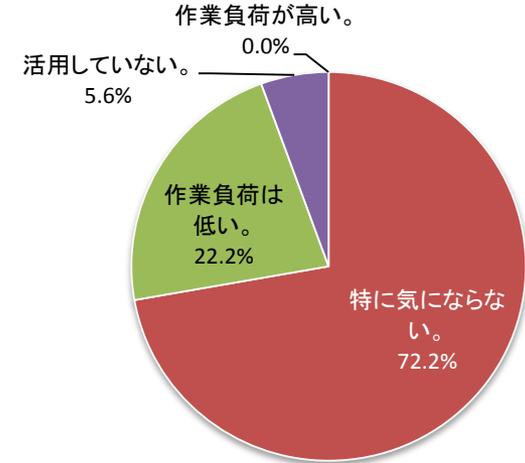
■ オペレーション負荷については、『特に気にならない』『作業負荷は低い』との意見が多数であった。



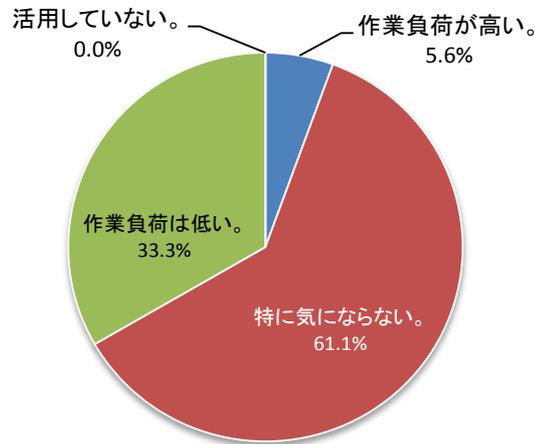
① 自分の物流情報を登録する



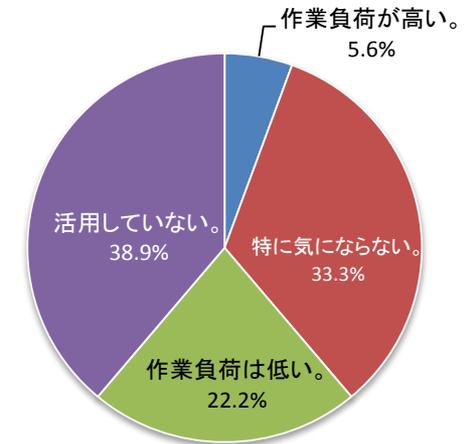
② 自分の物流情報を編集する



③ 物流情報を検索する



④ 交渉中の情報を見る

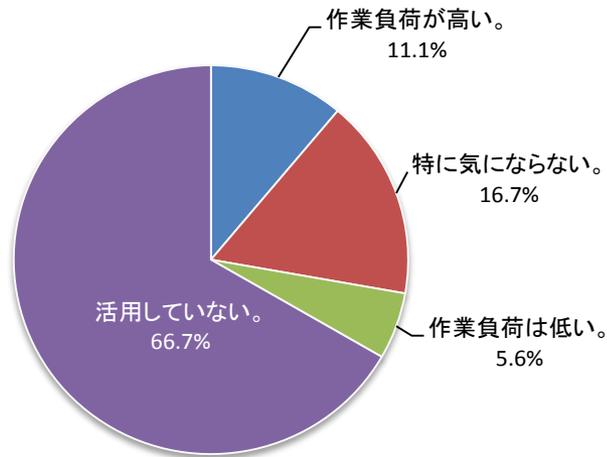


1. システムの仕様について オペレーション負荷(2/2)

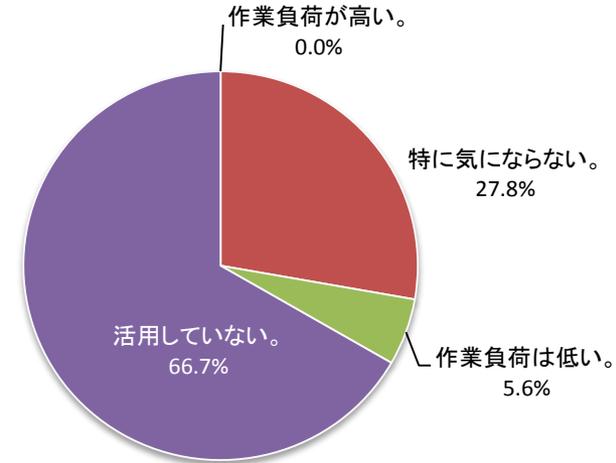
- オペレーション負荷は、⑦『CO2排出量を試算する』についてのみ、『作業負荷が高い (22.2%)』が、『特に気にならない (16.7%)』を上回った。…回答理由は次頁



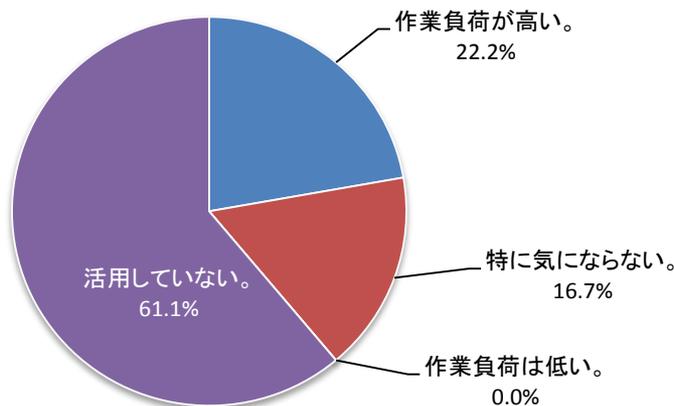
⑤ CO2 排出量を登録する



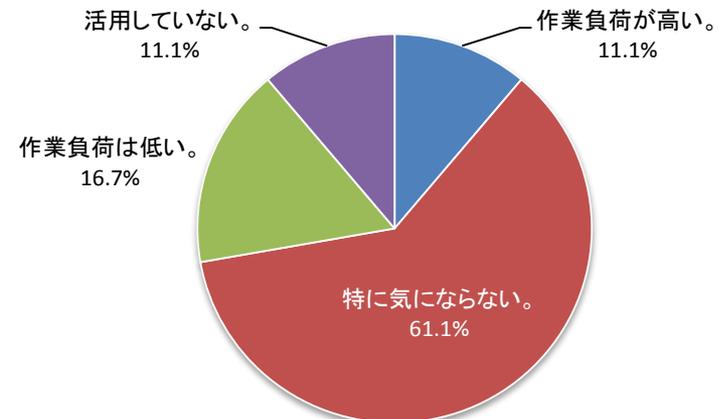
⑥ 集計結果を見る



⑦ CO2 排出量を試算する



⑧ 簡易掲示板



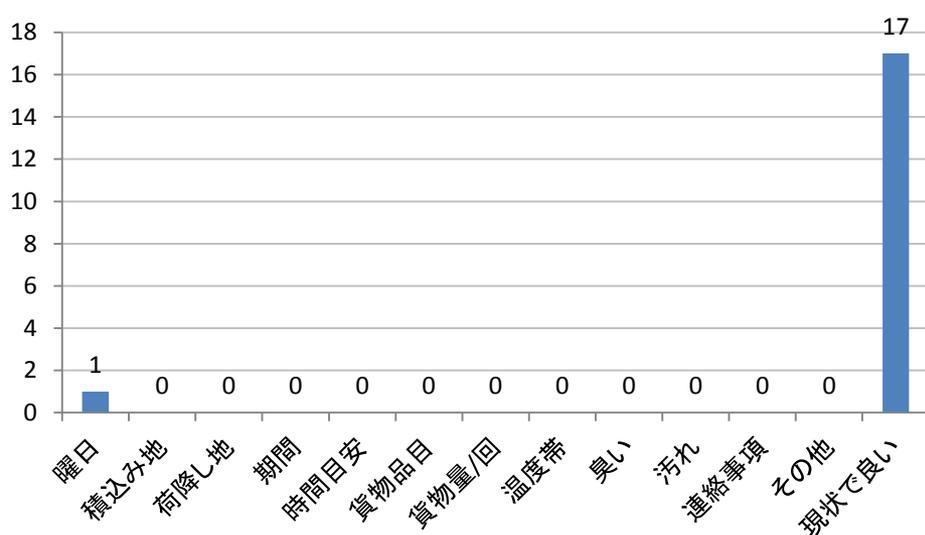
オペレーション負荷の高い作業についてのコメント（抜粋）

アンケート項目	荷主	物流事業者
<h2>・オペレーション負荷の高い作業</h2>		
<p>CO2試算/登録関連</p>	<p>① CO2 排出量の登録： 積地から納品先までの距離の算出に作業負荷がかかります。 <E会社様></p> <p>② CO2 排出量の試算： トンキロで距離を算出するには細かな路線をナビタイムで みなければならぬ。 <D社様></p>	<p>① CO2 排出量の登録： CO2の算出方法についてマッチング前と後の両方を試算するのは手間と 思います。マッチングしている最中に距離、重量、マッチング前積載率、 マッチング後積載率などを登録して自動で算出して欲しい。 <S社様></p> <p>② CO2 排出量の試算と登録： 相手方の輸送状況確認 <V社様></p> <p>③ 交渉結果登録：お互いに交渉結果を登録しないで片方登録すれば ステータスが変わるようにして欲しい。 <S社様></p> <p>④ 日々の業務の他に登録作業は厳しいような気がします。 データ連携、自動メール送信など操作回数を減らす検討した方が 良いと思いました。 <S社様></p>

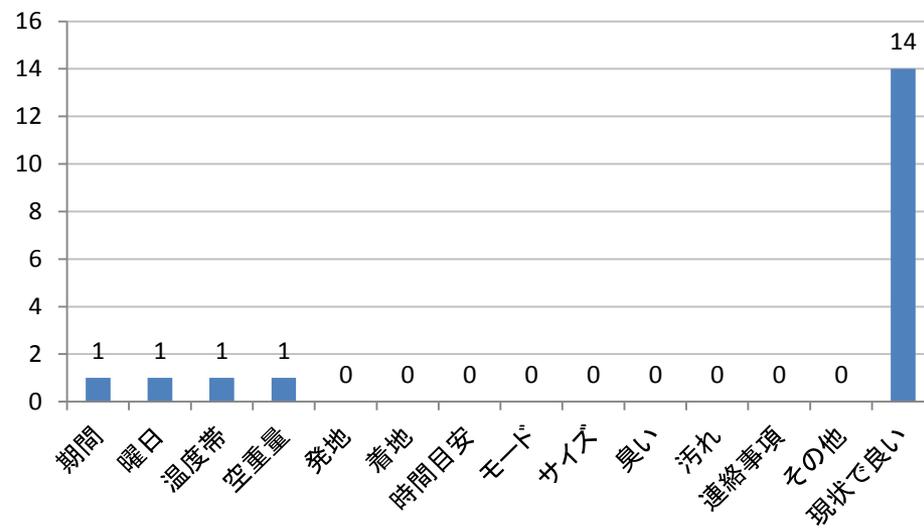
1. システムの仕様について 登録情報項目について

- 『検証用マッチングシステムの物流情報項目で、不要と考える情報項目はあるか？』との問には、『現状で良い』との回答が多数であった。

貨物情報



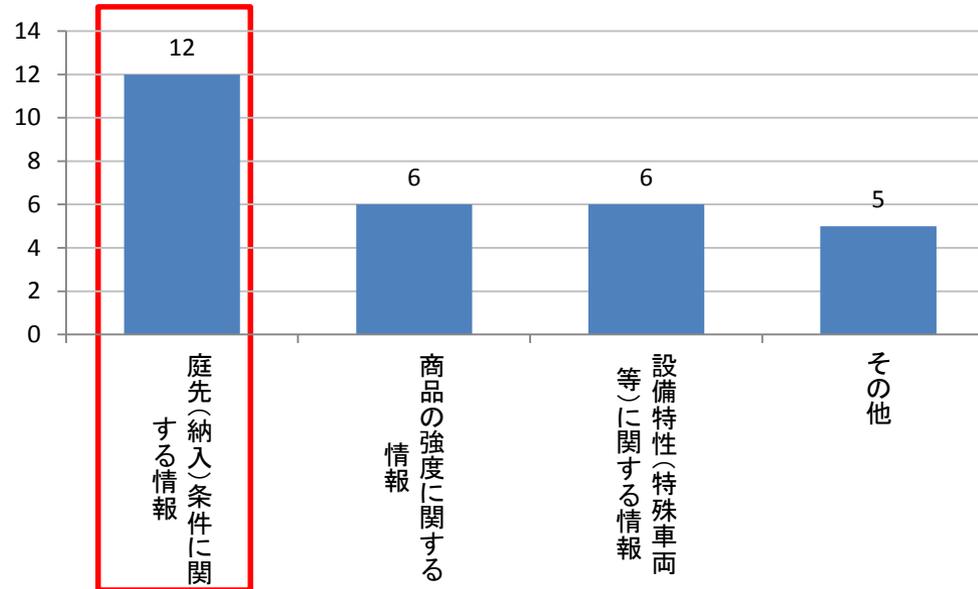
車両等輸送ネットワーク情報



追加すべき情報項目

- 『現在の検証用マッチングシステム情報項目以外で、追加すべき情報項目はあるか？』との問には、『庭先（納入条件）に関する情報』の要望が多い結果となった。

追加すべき情報項目



アンケート項目	荷主	物流事業者
---------	----	-------

・追加すべき情報項目で『その他』を回答した方のコメント

①緩衝材等の必要装備品の情報
<E社様>

②商品の荷姿（ケース、袋、その他）
<G社様>

①作業条件
積み下ろしがパレット作業かバラ作業かの情報
<S社様>

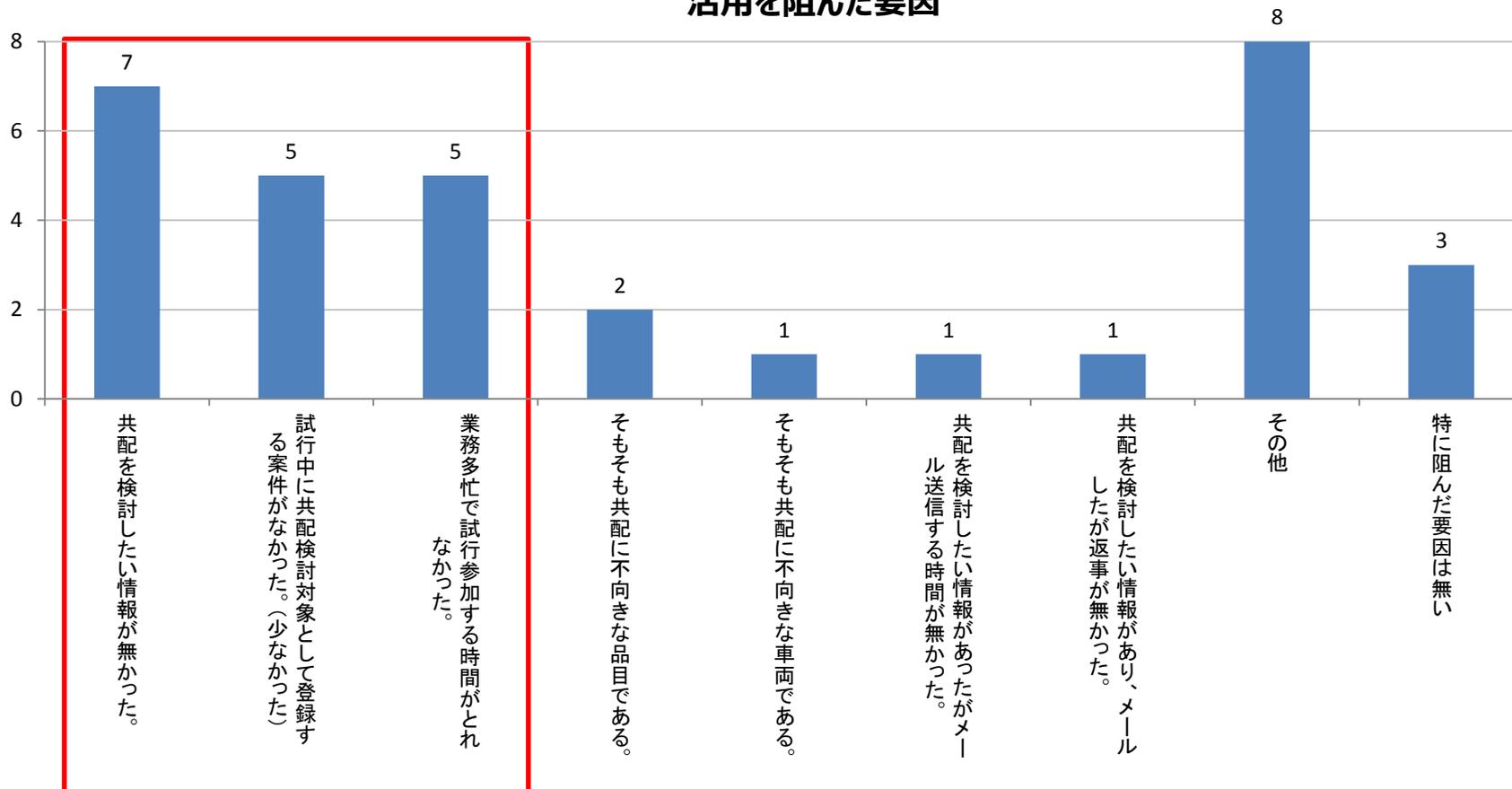
②費用の目安を入力出来たら良いと思いました。
<S社様>

③料金と支払方法
<W社様>

2. 活用を阻んだ要因について

- システム仕様の要因ではなく、『登録されている情報で共配の検討をしたい情報が試行期間中に無かった』という回答が最も多く、続いて『試行期間中に登録できる案件が自社内で発生しなかった』『業務多忙で試行参加する時間がとれなかった』という回答が続いた。次回継続運用時には、『試行期間』や『試行時期』について考慮する必要がある。

活用を阻んだ要因



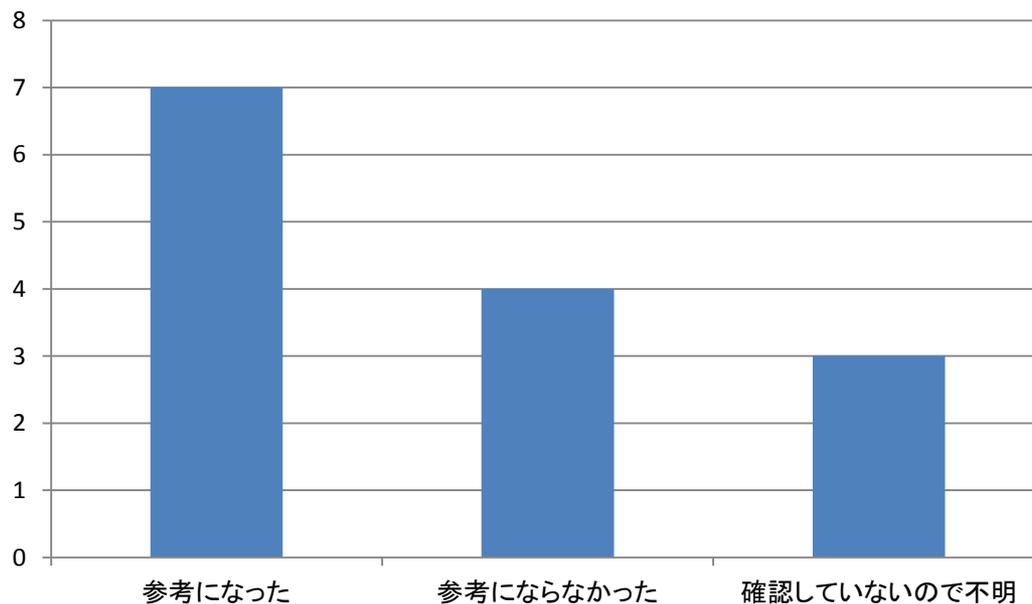
活用を阻んだ要因についてのコメント（抜粋）

アンケート項目	荷主	物流事業者
<p>・活用を阻んだ要因について『その他』を選択した方のコメント</p>		
	<p>①地域が限定されていたので、試行期間の情報ではなかなかマッチングできなかった。<G社様></p>	<p>①社内調整等に時間がかかり、具体的な話まで進めなかった。<Z社様></p> <p>②配送業務を委託している為。<S社様></p> <p>③現状大手荷主企業様は、必ず物流事業者（同業他社）が絡んでいるため非常に難しい部分あり価格競争への介入となってしまう恐れがある。<V社様></p>
	<p>システム仕様が係わる要因</p> <p>③日々情報が更新される中で、どれが新規に追加されたのかが分かりづらく時間がかかった。<A社様></p>	<p>④実施日が経過していても情報が掲載されていると間違いやすいし、確認が面倒となる。<V社様></p>

3. サポートセンターからの情報発信

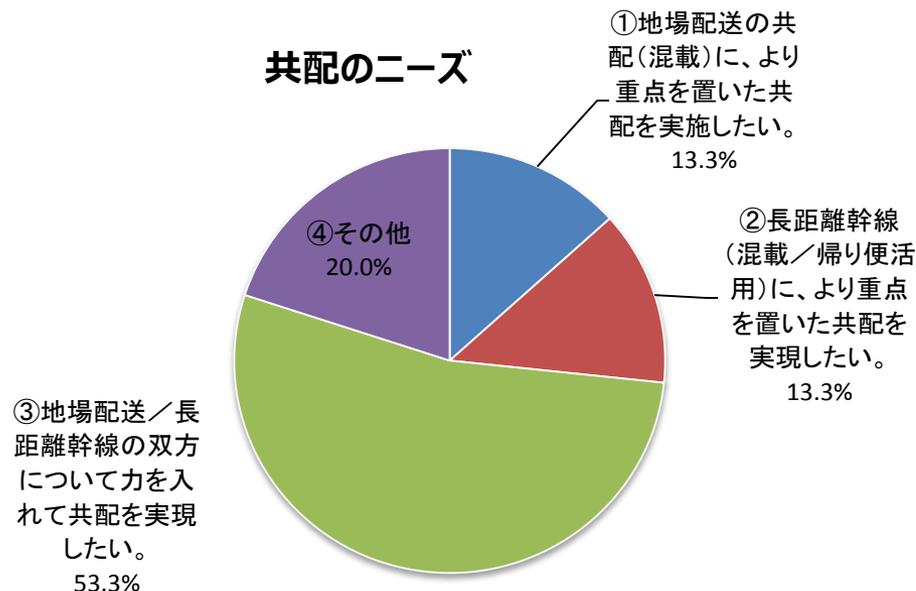
- 半数の企業がサポートセンターから発信された情報が参考になったとの回答であった。
※発信した情報の内容については、『サポートセンターの対応についてのご報告』でご説明。

サポートセンターからの情報発信（OD情報）について



4. 共同配送実現の課題について

- 『共配実施のニーズ(地場・幹線)で、一番近いものは何か?』の問については、『地場・幹線の双方に力を入れて共配を実現したい』との回答が多数であった。

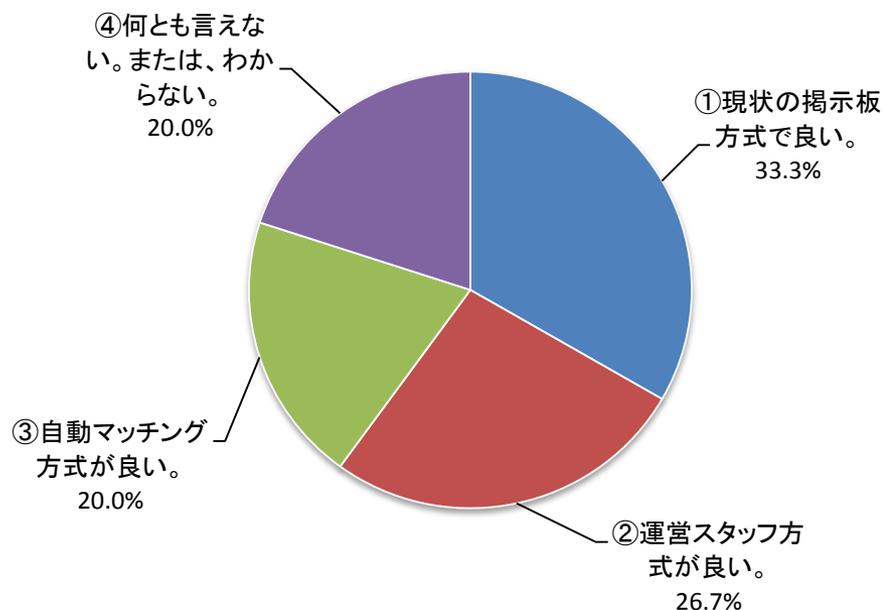


アンケート項目	荷主	物流事業者
・共同配送のニーズで『その他』を選択した方のコメント		
	<p>① 異業種との共同配送につきましては輸送（長距離）は取組み可能と判断いたします。 <E社様></p>	<p>① 地場配送/長距離幹線の混載なしで、帰り便を活用したい。 (通常臭いのきつい商品を輸送のため。) <U社様></p> <p>② 当社の捉えている共配(混載)は、複数車両による複数軒先様への納品輸送(ネットワーク配送)を前提としており、一便(車両)による複数軒先納品(キャラバン)とは捉えていない。 <X社様></p>

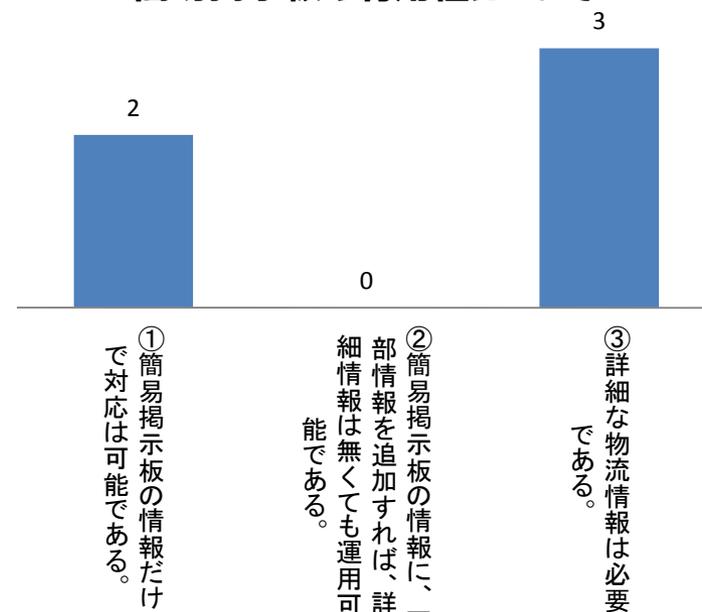
5. あって欲しいマッチング方式について

- 『あって欲しいマッチングの方式(掲示板・運営スタッフ・自動)は何か』の問については、『現状の掲示板方式で良い』との意見が最も多かった。
- 『現状の掲示板方式で良い』と回答した方に『簡易掲示板のみで出会いの実現は可能か?』の問は『簡易掲示板だけで出会いの実現は可能』と回答した企業と、『簡易掲示板だけで出会いの実現は不可能』と回答した企業があり、ほぼ拮抗している。

あって欲しいマッチング方式



掲示板方式で良いと回答した方の簡易掲示板の有用性について



※簡易掲示板の活用方法

簡易掲示板にて情報を照会し物流情報詳細を確認する運用をした企業もあることから、簡易掲示板の試行は、来年度も継続してその有用性を検証する。

6. インセンティブのアイデア (抜粋)

アンケート項目	荷主	物流事業者
<h2>・インセンティブのアイデア</h2>		
	<p>①表彰制度はあった方が良い。 また補助金が出ればやる気は大きくなる。 特に国から表彰は効果的(名誉になる)。表彰企業は多少多目でも良いと思う。申請にあたっては、数量(実施前、実施後の輸送数量、CO2削減量)に加え仕組みの改善をも加える。 <D社様></p> <p>②事例や効果の紹介 <F社様></p> <p>③このシステムで実績を作ると、CO2削減に積極的に取り組んでいると評価されるようになれば価値が上がるのでは？ ISOではないが、マッチングシステムを利用することがステータスになるようにしたほうがいい。 <C社様></p> <p>④CO2削減により顧客満足度が向上する事が本当の褒美である。 そこに差別化戦略が加われば企業価値もより向上する。 <E社様></p> <p>⑤荷主、輸送業者ともに効率化や売上拡大を図ろうと思ったらこうしたマッチングシステムに参加するのは当然ではないか。 インセンティブよりもいかに登録者を増やすか、使い勝手を良くするかの問題だと思う。<A社様></p>	<p>①グリーン経営やGマークの得点につながると良い。 <U社様></p>

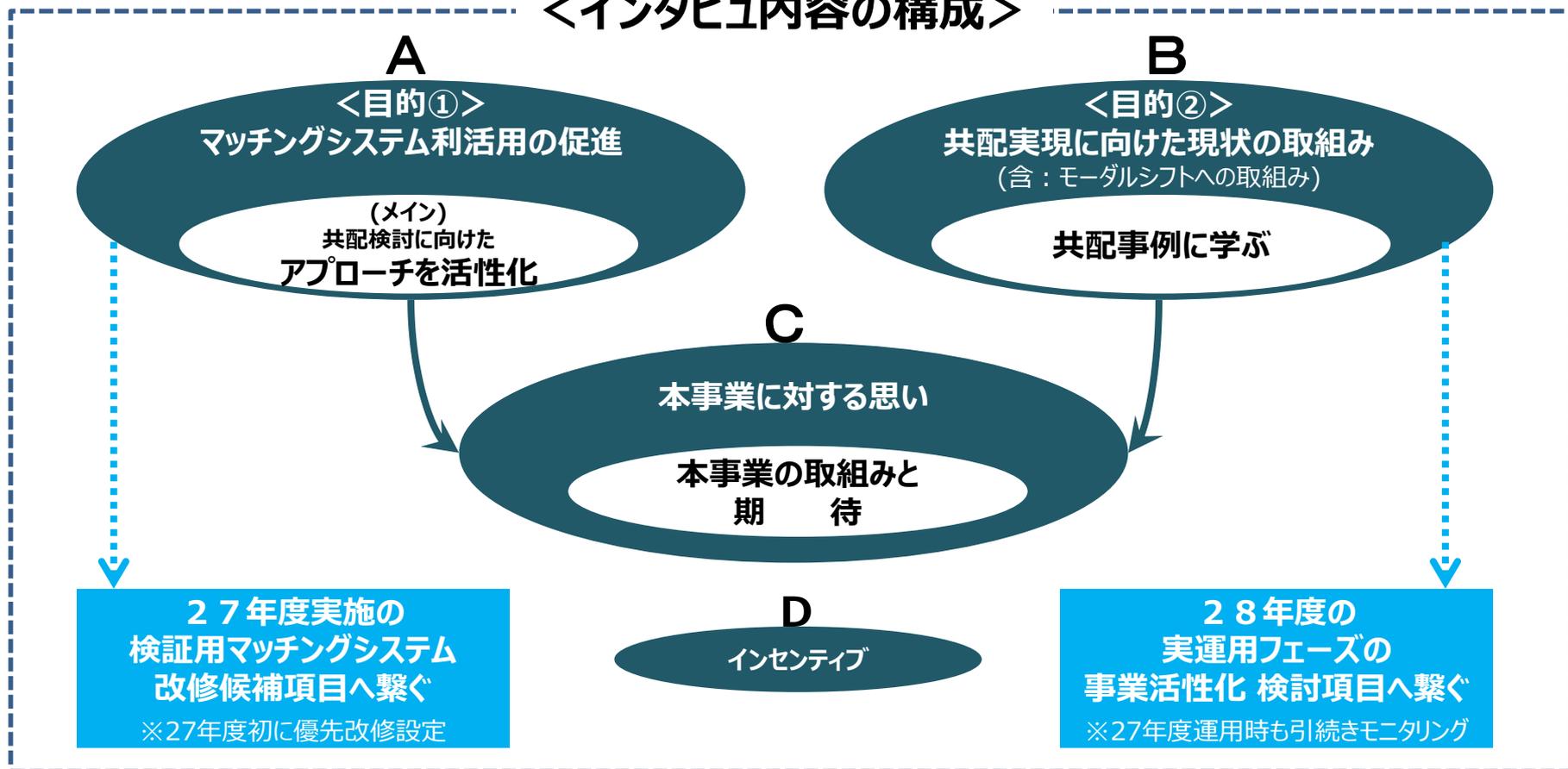
3. インタビュー結果のご報告

インタビュー実施 概観

1. インタビュー実施の目的

- ① アンケートでの確認項目をインタビュー方式で確認する事により
アンケートでは分からないマッチングシステム利活用促進に向けた問題を更に発掘
- ② 現状の共同輸配送の実現に向けた取組み実態と、実現に向け感じている課題確認

<インタビュー内容の構成>



インタビュー企業について

1. インタビュー実施企業数

試行参加企業の中から、 荷主：3社 物流事業者：3社 合計：6社

■インタビュー企業抽出の基本的な考え方■

- ① 本検討会で委員を務めて頂いている企業を、荷主、及び物流事業者 各々に少なくとも1社は含める。
- ② 試行期間中に利活用度の高い企業にインタビューを実施。
※利活用度が低い要因については、その要因はアンケート項目にあり

2. インタビュー企業

荷主

- ① E社
- ② C社
- ③ D社

物流事業者

- ① S社
- ② V社
- ③ Z社

4. サポートセンターの対応についてのご報告

第2回検討会で提示

【サポートセンターの3つの役割】

- ① 試行期間中の『マッチングシステム運用面の質問』
『マッチングシステム オペレーション面の質問』
『マッチングシステムの不具合』等
試行全般に亘る問い合わせ対応



サポートセンターが受けた問合せ実態

- ② ログインしていない/登録件数が少ない等、
試行期間中の利用実態※をモニタリング。
利用率の低い企業とコンタクトをとり、
活用を依頼。

※閲覧件数/登録件数/メール件数等、17の指標を設定済み



サポートセンターでのモニタリング項目

※ 2週間トータルの活用実態はご説明済み

- ③ 登録情報の内容を確認/分析し、
マッチングの可能性のある情報(※)を
関係企業に情報発信。

※登録データのOD(From/To)を分析。

・OD(From/To)が合致するもの(××地方レベル)を
メールにて参加企業に情報発信。



サポートセンターからの情報発信実態

サポートセンターが受けた問合せ実態

試行期間中、システム不具合が1件発覚したものの、それ以外に重大なシステム上の問題は発生せず、殆どが操作に関する質問であった。

参加企業の方々のご協力により、非常に円滑に試行を行う事ができた。

【試行期間中、サポートセンターが問合せを受けた内容】

問い合わせ内容の分類	件数	問い合わせ(抜粋)	サポートセンター対応
システム運用の問い合わせ	1	■自分で登録した貨物情報に、自分が登録した車両情報を紐付けてメール送信できないか？	■他社との出会いを目的としており、自社内マッチングは出来ない仕様としている。
システム操作の問い合わせ	7	■マッチング依頼メールの出し方を教えて欲しい。 ■簡易掲示板へのメッセージ反映を教えて欲しい。 ■物流情報の検索の仕方を教えて欲しい。	■オペレーションを説明。 ■オペレーションを説明。 ■オペレーションを説明。
システム不具合の確認	1	■話合いが成立したので、交渉中リストで情報ステータスを成立に変えたが、成立済みのステータスに変わっておらず交渉中のまま。	■問い合わせがあったのは2/16初日。システムの不具合である事が判明。早急にシステムの改修を行う。なお、問合せのあった情報は、富士通にてステータスを成立済みに変更。 ※現在は問題解決済み。
その他	1	■マッチングシステムのURLを入力しても画面が出てこない。	■Yahooの検索文字入力欄にURLを入力している事が分かったため、正しいURLの入力欄を説明。

合計：10件

(内8件が、初日/2日目の問合せ)

サポートセンターでのモニタリング項目

ログインしていない/登録件数が少ない等、**試行期間中の利用実態をモニタリング**。
利用率の低い企業とコンタクトをとり、活用を依頼。

【利用率に関する 2つのモニタリングの仕方】

① ログデータ分析によるモニタリング

閲覧件数/登録件数/メール件数等、**設定した利活用度を診断する17の指標を分析**。

※ 17の指標は次頁参照。 2週間トータルの活用実態は説明済みであり、中間値については説明割愛。

② 目視によるモニタリング

※ 簡易掲示板のメッセージ入力有無を目視モニタリング



延べ21社にコンタクト

ご参考：利活用度を診断する17の指標

KPI	定義(算出)		最終取り纏め単位
閲覧回数	見る	①閲覧企業別・ユーザー別の『ログイン回数(ログインボタンを押した回数)』	日別・午前/午後別
		②閲覧企業別・ユーザー別の『検索回数(検索ボタンを押した回数)』	日別・午前/午後別
		③閲覧企業別・ユーザー別・登録物流情報別の『詳細確認回数(詳細を確認するボタンを押した総回数)』	日別・午前/午後別
	見られる	④登録企業別・登録物流情報別・閲覧企業別の『照会された回数(詳細を確認するボタンを押された回数)』	日別・午前/午後別・・・③に同じ 切り口を変えただけ
登録全件数	⑤登録企業別・ユーザー別・貨物/車両情報区分別・連絡事項別の『物流情報登録件数』 ～削除/編集を考慮せず～		日別 と 2週間トータル
	⑥登録企業別・ユーザー別・貨物/車両情報区分別の『物流情報削除件数』		日別
異業種登録件数	⑦品目名別・部門名別の『物流情報登録件数』・・・貨物情報のみ		2週間トータル
検索機能利用件数	⑧閲覧企業別・ユーザー別の『検索回数(検索ボタンを押した回数)』		2週間トータル・・・②の合計値
	⑨閲覧企業別・ユーザー別の『固定条件として反映させる+固定条件として登録する の合計回数』		2週間トータル
メール送信件数	⑩閲覧(送信)企業別・閲覧企業ユーザー別・受信企業別の『メール送信件数』		日別
	⑪閲覧(送信)企業別・紐付け物流情報別・受信企業別の『メール送信件数』		2週間トータル
メール受信件数	⑫受信企業別・受信企業ユーザー別・閲覧(送信)企業別の『メール受信件数』		日別・・・⑩に同じ 切り口を変えただけ
	⑬登録企業別・登録物流情報別・閲覧(送信)企業別の『メール受信件数』		2週間トータル
マッチング成立件数	⑭マッチング成立件数		日別
	⑮登録企業別・マッチング先企業別の『マッチング件数』		2週間トータル
類型別マッチング件数	⑯ 車両情報	登録企業別・連絡事項等(積み合わせできる貨物を探したい/車扱いで・・・)別の『マッチング件数』	2週間トータル
	⑰ 貨物情報	登録企業別・連絡事項等(積み合わせできる貨物を探したい/積み合わせできる車両・・・)別の『マッチング件数』	2週間トータル

サポートセンターからの情報発信実態

OD(From/To)が合致しマッチングの可能性のある情報を、関係企業10社にメール発信(2月22日)。

1. 情報件数

貨物情報は、全て『求む：車両』の情報

		発 地			
		北海道	東北	関東	関西
着 地	北海道			貨物情報 2件 ↓ 車両情報 1件	
	東北			貨物 3件 ↓ 車両 3件	
関東			貨物 10件 ↓ 車両 10件	貨物 1件 ↓ 車両 3件	
関西			貨物 6件 ↓ 車両 4件		

計：39件

計：4件

総計：43件 (OD合致率 43件 ÷ 64件(分析時の総登録件数) = 67%)

2. 会社数

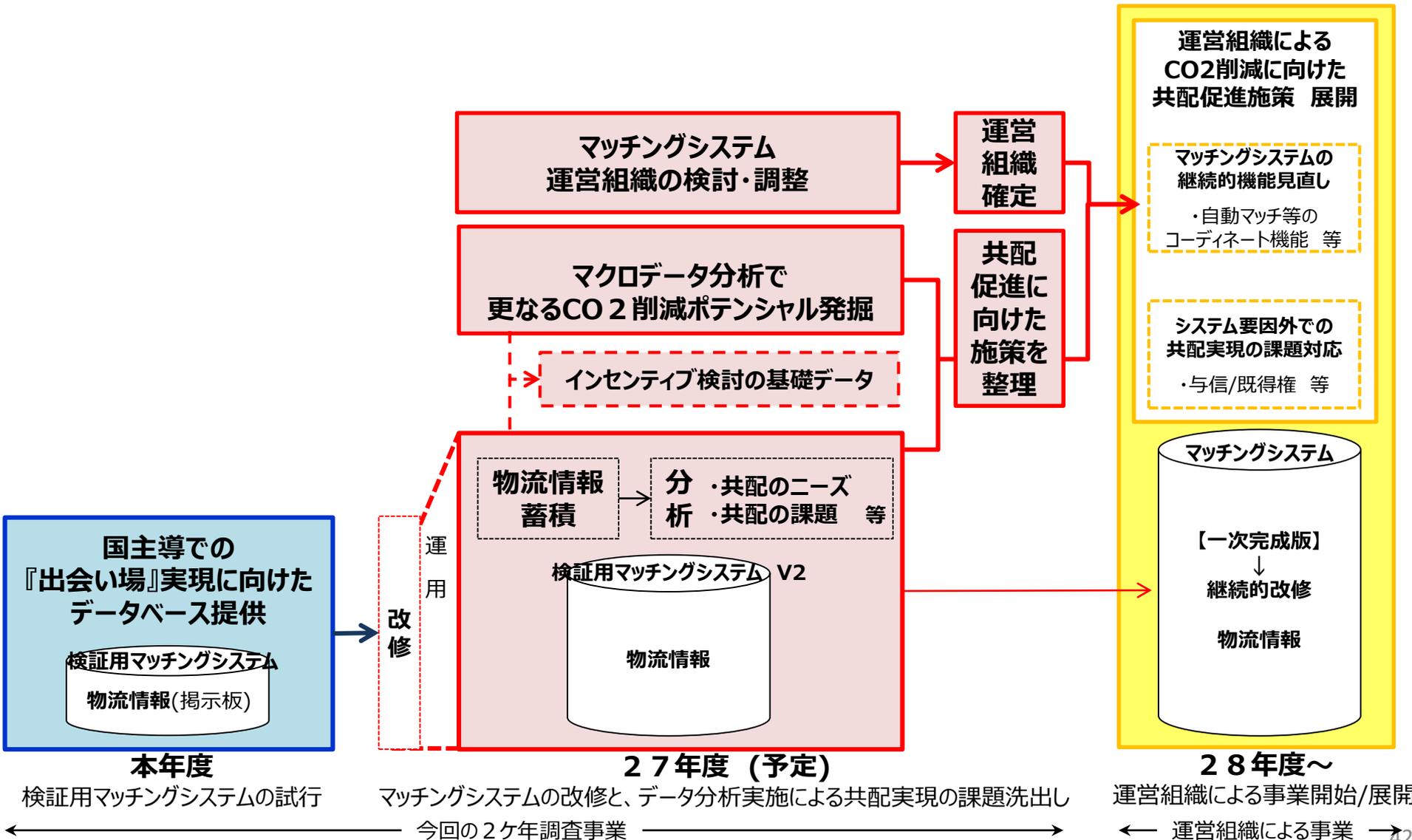
		発 地			
		北海道	東北	関東	関西
着 地	北海道			貨物情報 2社 ↓ 車両情報 1社	
	東北			貨物 2社 ↓ 車両 2社	
関東			貨物 6社 ↓ 車両 3社	貨物 1社 ↓ 車両 2社	
関西			貨物 3社 ↓ 車両 3社		

情報発信成果：『過去から付き合いがある企業で既知の情報』『曜日不一致』『同業の競合他社』等の理由により交渉に到らず

5. 今後の対応について

今後の事業マイルストーン

第2回 検討会での提示資料



検証用マッチングシステムの試行を終えて

検証用マッチングシステムの試行を終えて

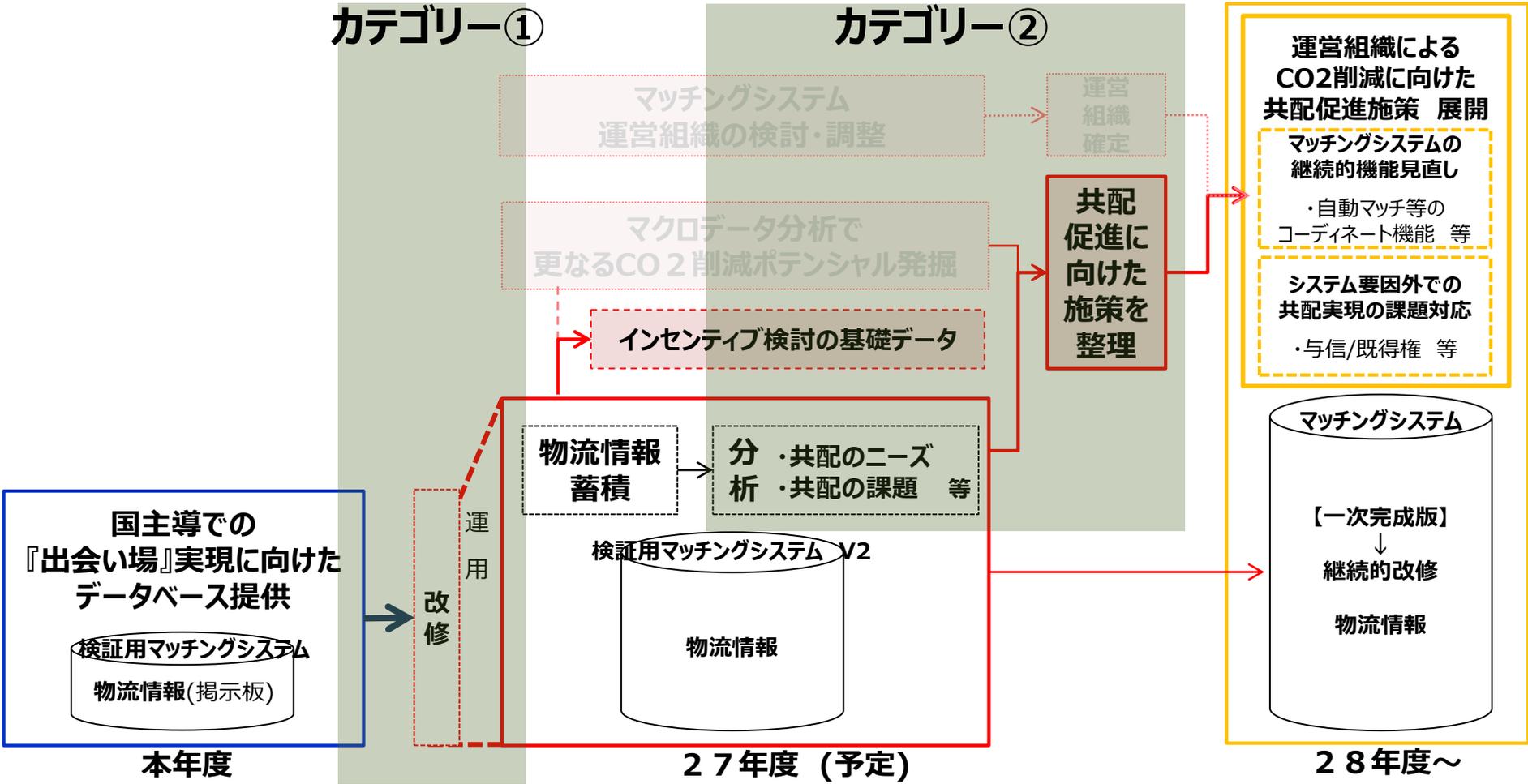
今年度の検証用マッチングシステム試行結果は、次の2つに分類のうえ対応をする。

カテゴリー①：27年度の『継続運用開始』に向け繋ぐべき内容

カテゴリー②：28年度の運営組織に『共配促進に向けた施策』として繋ぐ → 27年度も継続して調査検討すべき内容

カテゴリー①

カテゴリー②



試行期間結果 ～カテゴリ①/②に、分類～

← アクション項目 →

<分類>

ICT
SYS
操作性・仕様

人
参加企業・サポート

プロセス
共配実現の課題

他
インセンティブ

アンケート

インタビュー

試行期間中のログデータ等実態

検証用マッチングシステムの改修

- ①アイコン分かりやすさ
- ②オペレーション負荷（操作性）
- ③登録情報項目過不足
- ③ 共配検討に向けたアプローチ・出合いに必要な情報項目は？

サポートセンター

- ④試行期間中の問い合わせ内容

参加企業

- ⑥活用を阻んだ要因

サポートセンター

- ⑧情報発信の効果/効能

サポートセンター

- ⑦情報発信の効果/効能

共配実現そのものの問題・課題

- ⑨あって欲しいマッチング方式（掲示板 or スタッフ or 自動）
- ⑩共配のニーズ（地場 or 幹線）
- ⑪アプローチ活性化に向けた課題 ～与信～
- ⑫事例に学ぶ 共配の阻害要因
- ⑬モーダルシフト取組

インセンティブ

- ⑭インセンティブのアイデア
- ⑮インセンティブのアイデア

【カテゴリ①】

27年度
継続運用開始
に向け
**検証用
マッチング
システム改修
候補項目**

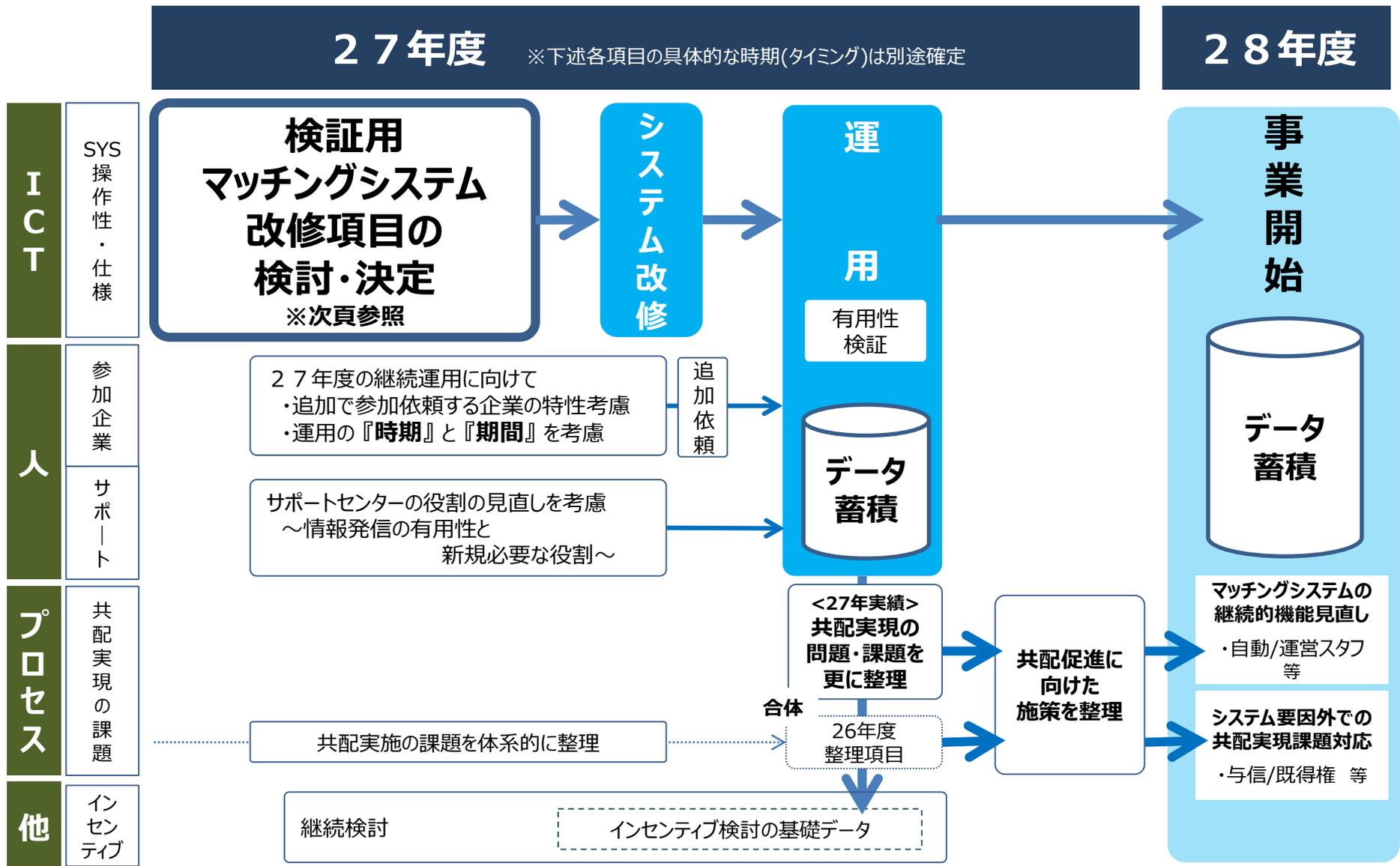
27年度
継続運用開始に
向け
**追加
参加企業考慮
&
時期期間 考慮**

【カテゴリ②】

28年度
事業開始に向け
**27年度も
調査検討継続**

28年度
事業開始に向け
**27年度
調査検討継続**

試行を踏まえた今後の対応

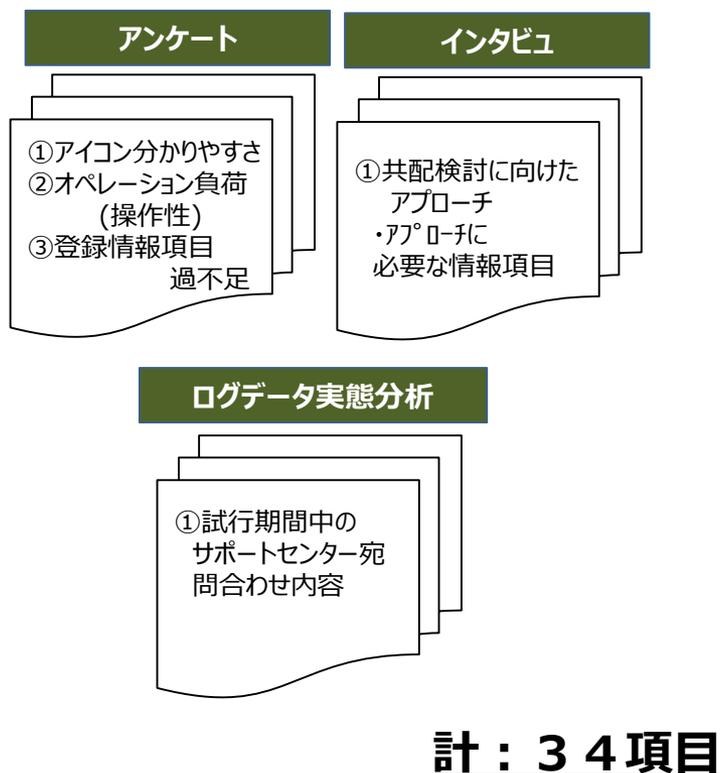


検証用マッチングシステム改修項目の考え方(案)

本年度試行結果を踏まえた検証用マッチングシステム改修項目は、下述の考え方で優先改修項目を確定する。

※優先改修項目と位置づけなかった項目については、来年度継続運用の中で、再度、改修の必要性を検証する。

1. 検証用マッチングシステム改修に関する意見



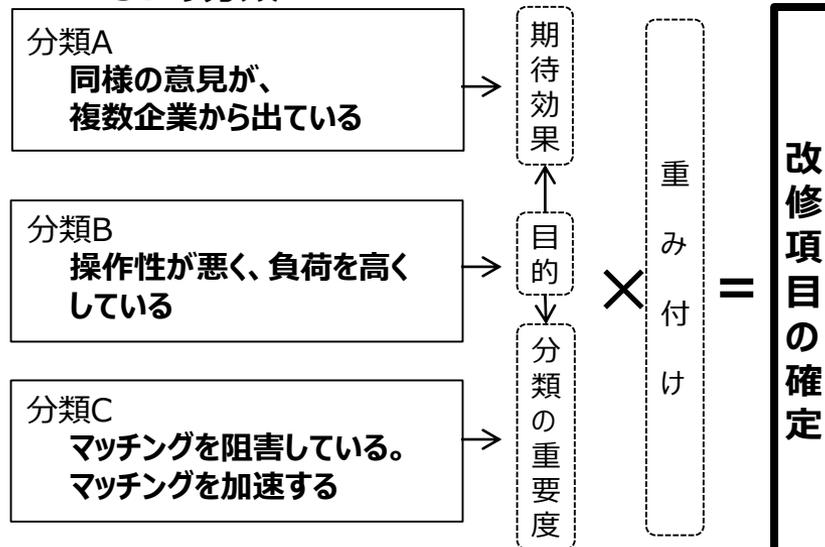
2. 検証用マッチングシステム改修項目の検討(案)

優先的に改修する項目の検討(絞込み)は、今後の事業マイルストーンを前提としたうえで、次の3つの分類に整理し重み付けを行う。

※27年度初めから着手

※改修項目確定にあたっては、必要に応じ、意見を頂いた参加企業の方にリコンファームを実施。

< 3つの分類 >



27年度 その他の対応(予定)

- ・**運営組織**

- ・**マクロデータ分析**

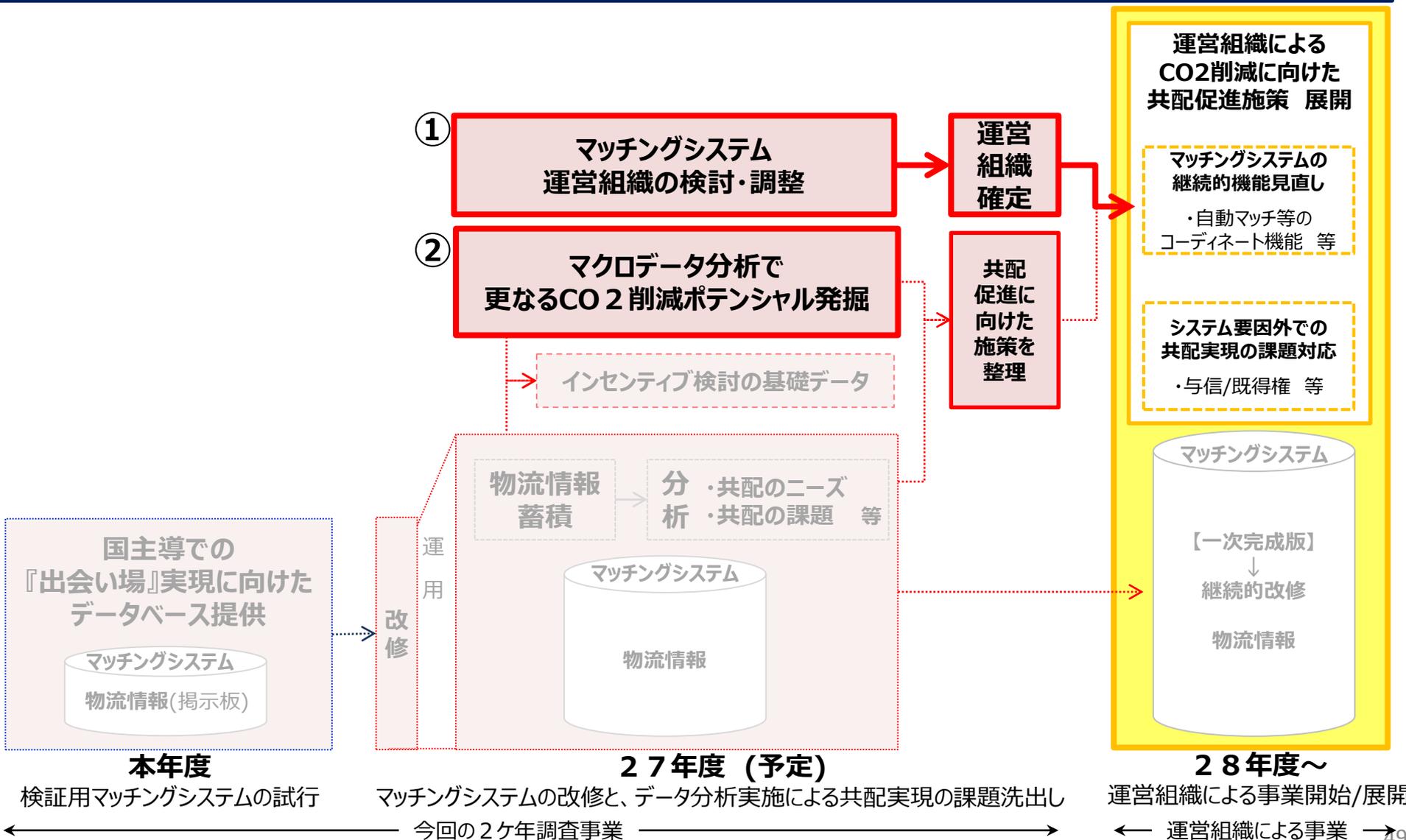
27年度 その他の対応 (予定)

※本部分については、環境省様にて来年度仕様書を策定中。

検証用マッチングシステム試行結果以外の 来年度対応部は下図の2点。

① 運営組織の検討

② マクロデータ分析



① 運営組織の検討(予定)

28年度の事業化を踏まえ、マッチングシステムの利活用促進や更にはCO2削減に結びつく共配実現の課題解決に向けて、どのような要件/特性を持った団体が妥当であるのかを先ずは整理する。

<先行事例>

<有識者/団体>

リファレンス情報を必要に応じ収集

民間事業者等が
マッチングシステムを
運営する場合の
運営組織として
備えるべき
要件・特性を整理

(強み・実績・
情報セキュリティのあり方 等)

ヒアリング等による確認

② マクロデータ分析(予定)

物流センサデータや道路交通センサデータ等のマクロデータ活用用途を検討する。

※例

マクロデータから上り下りの物量の差が把握。
特定区間を選んで情報を入力。

<イメージ>

都道府県発の流動重量

上り下りの物量の差を把握



B県からA県の貨物をプロモート